

株式会社ディープラン



代表取締役社長 横手 好一 氏

株式会社ディープランは、1984年創業。10年前に軽印刷主体の赤字会社を急ぎよ引き継いだ横手社長は、印刷機を設備してきっちりした仕事で生き残ることを決意し、お客様との信頼関係を築き上げながら総合印刷会社へと業容を拡充している。

「KOMORIの菊全機を入れることを目標にやってきました」と言う横手社長は、昨年の夏に、菊全判にも対応できるリスロンA37(A横全判4色機)と、断裁機のアプリシアCT115(プログラム油圧クランプ大型断裁機)をセットで導入している。その導入理由と成果について、横手社長にお聞きした。

本社/東京都武蔵村山市学園1-100-4
<http://www.dplan-print.com/>
 TEL/042-843-5601

印刷機と断裁機の同時導入で、印刷+加工の付加価値を追求。

きっちりした仕事をやる会社

(株)ディープランは「お客様に信頼される会社」をめざし、「クレームを出さない、良い物を刷ること」を日々の努力目標としており、仕事をきっちりやるのが同社の強みとなっている。横手社長は、「信頼関係が一番大事」と社員には言い続けているという。

同社の仕事は地元スーパーなど流通関係が5割、不動産関係が3割、他の2割が役所や会社関連であり、チラシやDM、販促ツールやPOPなどすべてを自社内で生産している。夜に下版して翌朝の納品や、PP貼りや型抜き加工にもきっちり対応するとともに、仕分けや配送など細かいフォローも行っている。納期遵守の仕事が多い同社は、ワンストップ体制の設備を整えて、2交替制に対応している。設備面では、4色機3台、断裁機3台のほか、中綴り機や無線綴り機、折り機など一通りの設備を揃えている。

オペレーターのスキルもアップ

「今までも全判の仕事がかなりありました。それを全部取り込む機械が欲しいと思っていましたが、運よく補助金が取れました」と言う横手社長は、昨年の8月に念願だったKOMORI機のリスロンA37を導入、翌9月には菊全判に合わせた断裁機のアプリシアCT115をセットで導入している。

「KOMORIとのお付き合いは初めてですが、印刷機には絶対の信頼感がありますし、断裁機も信頼できると考えてセットで入れました。アプリシアも問題なく順調に使用できています。いい機械を入れるとオペレーターのスキルもアップして、結果的に良い物ができます」と横手社長は笑顔で語る。

アプリシアについて現場にお聞きすると、「タッチパネルによる操作なので作業がとても楽になりました。操作にもっと慣れることで、作業性はさらに向上できます」、「実作業では2週間

で1万回の断裁を行っています。菊全判に対応していますので仕事の幅も大きく広がっていくと思います」と喜びの声が返ってきた。

付加価値を得意とする会社に

「KOMORIのサービスやフォローの姿勢には共感できます」と言う横手社長に、今後について伺った。

「当社はまだまだ発展途上です。当社の規模では、やはり小ロットに対応し、さらに抜き加工を活用した販促ツールやパッケージなど付加価値のある作品を得意とするような会社になりたいと思っています。そして、中をきっちりと固めて、信頼してもらえる会社になって、自社の長をうまく活かしながら、一歩先の攻めの営業をやりたいと思っています」と語る横手社長は、信頼の会社づくりのために新たな戦略を思考し始めている。



アプリシアCT115(プログラム油圧クランプ大型断裁機)

CURRENCY Solutions 2016

15カ国の銀行券印刷関係者に商談会を開催

10月24日から4週間にわたり、KOMORIつくばプラントにおいて、証印商談会「CURRENCY Solutions 2016」を開催しました。期間中、世界15カ国の中央銀行や国立印刷局、民間銀行券印刷会社から47名のお客様にご参加いただき、KOMORIの最新技術を投入した銀行券印刷機によるライブデモンストレーションを実施しました。

今回の商談会では、KOMORIは銀行券印刷プロセスを再構築する新コンセプト・CURRENCY OnDemandを発表しました。CURRENCY OnDemandは、印刷稼働時間の最大化(Maximize Uptime)と銀行券デザイン性能の強化(Strengthen Design Capability)の2つを大きな柱としています。これらを実現するKOMORIの銀行券印刷機がお客様のオペレーションに大きな影響をもたらすCURRENCY OnDemandのプレゼンに、お客様からは称賛の声が上がっていました。

3台の最新鋭銀行券印刷機のデモで感動体験

CURRENCY OnDemandのライブデモでは、3台の最新鋭銀行券印刷機の実演を行いました。

●コンビネーションマルチプロセス番号コーター機・NV-532

新規開発のコンビネーションマルチプロセス番号コーター機・NV-532では、



印刷サンプルを確認するお客様

ポリマー基材から銀行券用紙への切り替えを最高印刷速度12,000回転で行い、今回の実演の一番の見所となりました。今までは番号印刷行程とニス塗布行程は別々の印刷工程で行っていましたが、KOMORIのユニークなシリンダー搬送技術を採用したNV-532はワンパスで実現する画期的な機械となっています。また、モジュールデザイン技術により、切り替え時の洗浄作業などを同時に平行作業で行えます。実演では15分を切る、世界最速のジョブ切り替えをご覧いただき、銀行券印刷行程の新たな方向性を示すことができました。

●銀行券印刷用オフセット印刷機・LC-1232

新たにアップグレードした銀行券印刷用オフセット印刷機・LC-1232では、レインボー印刷のインキプリセット技術による素早い立ち上げや、オフライン自動見当測定機・PDC-SXによる高い見当精度をご確認いただきました。

●銀行券印刷用凹版印刷機・IC-532III

新機能を搭載した凹版印刷機・IC-532IIIでは、最高印刷速度12,000回転でインキカーブ速度自動追従技術による安定した印刷品質と、ワイピングタンクとシャブロン版の同時洗浄作業をご確認いただきました。

ライブデモを通して、お客様に感動体験をお届けすることができたものと思っています。KOMORIは、今後も証印商談会を定期的に開催し、銀行券・諸証券印刷機ビジネスに注力していきます。

2016 EXPO SERIA

PE市場で注目を集めているSERIA機11台を出展

KOMORIグループのPE・精密機器事業を担うセリアコーポレーションは、11月9日から3日間、内覧会「2016 EXPO SERIA」をセリアエンジニアリング各務原工場において開催しました。会期中は、電子部品業界など多岐にわたる関連業界から約370名のお客様にご来場いただきました。

今回の内覧会では、PE市場で注目を集めている印刷機11台をはじめ各種消耗資材・機材などを展示しました。

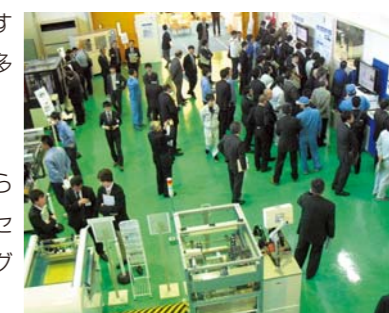
- ギャップレス同期型スクリーン印刷機 RYURONE-30SZ
- グラビアオフセット印刷機 PEPIO-F6、PEPIO-F20
- 縦型両面スクリーン印刷機 SSA-DSV650-R
- CCDカメラ付き全自動PC印刷機 SFA-PC610ECTN

縦型両面スクリーン印刷機は基材の投入・取出しのロボットを装備し、自動化の提案も行いました。モデルチェンジし

たCCDカメラ付き全自動PC印刷機は、お客様から活発な質疑が寄せられていました。

また、セミナー会場では「IoTにおけるものづくり」をテーマに、3名の講師による基調講演やプレゼンテーションを開催し、大勢のお客様が熱心に聴講されていました。お客様からはSERIAに期待するご意見・ご要望を多数いただきました。

今後の予定は、2017年4月5日から3日間、第2回高機能セラミック展(東京ビッグサイト)に出展します。



EXPO SERIAの会場風景